

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

保護者数(児童数)25 回収数20 割合80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	18	2				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2		2		
	③	障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化が適切になされているか	15	1		4		
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されているか	20					
	⑤	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	19	1			・かわいい作品を作ってきてくれるのが楽しみです。	・今後も楽しく参加して頂けるよう、活動を企画してまいります。
	⑥	放課後児童クラブや児童館等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3	15	・機会がない。	・現時点では交流の機会を設ける予定はありません。
保護者への説明等	⑦	利用者負担等の説明や支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	20					
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	20					
	⑨	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	20					
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	2	5	11	・機会がない。	・現在も保護者会等は開催していませんが、必要に応じて、交流できる場などを検討してまいります。
	⑪	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18	1		1		
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	20					
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	2		2	・写真付きの会報はどんな風に見えるか見られるのでとても嬉しいです。笑顔の子供たちの写真がたくさん見られて、楽しみに見えています。	・今後もひろばでの様子などを分かりやすくお伝え出来るように工夫してまいります。

	⑭	個人情報取り扱いに十分注意されているか	20				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	2		2	・ご契約時に、災害時のマニュアルをお渡ししていますが、年度ごとに、会報などで改めて周知させて頂きます。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	18			2	・定期的を実施していますが、ご利用日によっては参加できていない方もいらっしゃるのので、日程等改めて検討いたします。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1			・楽しそうに通っています。いつもありがとうございます。 ・本人の気分によって、良い時と悪い時があるので申し訳ないです。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	20				・いつも子供に合わせたサポートをしていただきありがとうございます。 ・子どもたちの体調や気分なども含めて、楽しく安心して通って頂けるように努めてまいります。

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 8年 3月 31日

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容または改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	1			
	②	職員の配置数は適切である	2	3	1		・人員増やしてほしい ・子どもに対して職員の数 が足りないと感じる場面がある ため、職員の人数を増やす 事、職員自体が何をすべき か考えて行うとより良くなると 感じる。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい 構造化された環境になっている か。また障害の特性に応じ、 事業所の設備等は、バリアフ リー化や情報伝達等への配慮 が適切になされている	5	1		・高すぎない段差、手すり があるなど子ども目線で 考えられ、本日の予定な ど、目で見て情報が入る 様な工夫がされている。	
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り) に、広く職員が参画している。	4	2			
	⑤	保護者等向け評価表により、保 護者等に対して事業所の評価 を実施するとともに、保護者等 の意向等を把握し、業務改善 につなげている	6				
	⑥	事業所向け自己評価表及び保 護者向け評価表の結果を踏ま え、事業所として自己評価を行 うとともに、その結果による支 援の質の評価及び改善の内容 を、事業所の開放やホームペ ージ等で公開している	6				
	⑦	第三者による外部評価を行い、 評価結果を業務改善につなげ ている	4	2			
	⑧	職員の資質の向上を行うため に、研修の機会を確保している	5	1		・研修にて他事業所との 交流、先生のお話など聞く 事が出来様々な発見や学 びをする事が出来る。	
適切か	⑨	アセスメントを適切に行い、子 どもと保護者のニーズや課題を 客観的に分析した上で、児童発 達支援計画を作成している	6				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図る ために、標準化されたアセス メントツールを使用している	4	2			
	⑪	活動プログラムの立案をチーム で行っている	5	1			
	⑫	活動プログラムが固定化されな いよう工夫されている	4	2			・固定化しないよう頑張ってい ます。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活 動と集団活動を適宜組み合わ せて個別支援計画を作成してい る	6				

支援の提供	⑭	支援開始前には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6			・工作や活動などで子どもと1対1より1:2(1:3)で行う必要がある場合は事前に打ち合わせで伝えていたため、実際その場面が来た時に焦らず進められる。	
	⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1		・その日に出た意見、質問はその日の内に解決出来る様全員が一つの内容に対し考えやすい環境がある。	・勤務時間の異なる職員に対しても、次の出勤時に伝えたり、連絡ノートや支援記録を活用している。
	⑯	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6			・〇〇をした結果〇〇になったなど前日の悩みなどを終礼を通し意見を交わし、改善しやすい。	
	⑰	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6				
関係機関や保護者との連携	⑱	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画している	6				
	⑲	母子保健やこども・子育て支援等の関係者や学校、関係機関と連携した支援を行っている	4	2			
	⑳	就学前に利用していた保育所、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	4			
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	5	1			
	㉒	児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	1			
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流、障害のない子どもと活動する機会があるか		3	3		・今のところない
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	3			
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6				
㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	3	1			

保護者への説明責任等	⑲	運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ている	6					
	⑳	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6					
	㉑	父母の会の活動をしたり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5	1			・コロナからやっていないが、ニーズに応じて、子どもたちと一緒に参加できるイベントを検討していきたい。
	㉒	子どもや保護者からの相談や申し入れ、苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6					
	㉓	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の除法を子どもや保護者に発信している	5	1				・子ども一人一人がしっかり写っている写真を選び、事業所での様子が想像しやすい様な工夫をしている。見た側がすぐに連想出来る様な会報を作っている。
	㉔	個人情報の取り扱いに十分注意している	6					
	㉕	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1				
	㉖	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4	1			
非常時等の対応	㉗	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練が実施している	4	2				
	㉘	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っている	4	1	1			
	㉙	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6					・保護者から動画、くわしい話を聞かせて頂き全員に共有し、支援中も目を離さずに一層よく見る機会につながる。
	㉚	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6					・メモを貼り、一目で誰が何を食べられないのか確認出来、子ども自身も分かる様、個別の名前シートを使っている。
	㉛	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	1			
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6					

	④ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6				
--	---	---	--	--	--	--

事業所自己評価のまとめ

事業所名 児童デイサービスあさひ丸ひろば

職員による自己評価と保護者に評価の共通点

- ・アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。
- ・日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている。
- ・運営規定、利用者負担等の説明や、支援内容とこれに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら、支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ている。

相違点

- ・緊急時対応マニュアル等を策定、訓練を実施している。

改善点と改善への取り組みを話し合った結果

「緊急時対応マニュアル等を策定、訓練を実施している」について

職員による評価と、保護者による評価で大きく異なるわけではなかったが、以前から課題としていたマニュアルや訓練内容の周知について、より工夫が必要だと感じられました。
マニュアルについては、契約時に説明するだけでなく、訓練内容の周知に合わせて、新聞などで改めてお伝え出来るようにしていきます。
また引き続き、子どもたちが参加しやすいよう、訓練を実施する日時を検討していきたいと思えます。